

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫の架台等の設置）に係る面談
2. 日時：令和3年2月16日（火）15時00分～17時15分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
大辻室長補佐、横山係長
知見主任安全審査官、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 4名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、昨年7月22日付けで申請のあった実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫架台等の設置）における耐震強度評価について、2月9日の面談に引き続き面談を行い、架台に対する評価の方針について確認した。
 - 東京電力から、原子力規制庁からの以下の指摘を含むこれまでの指摘への回答を整理するとともに、耐震強度計算書としてまとめて提示する旨、回答があった。
 - ✓ 水平震度によって生ずる使用済吸着塔から架台に加わる水平荷重に対して、転倒モーメントや滑り事象を確認し、水平荷重の伝達経路を整理すること。
 - ✓ 現状の耐震強度評価では評価していない架台支柱及び基礎ボルトについて評価箇所を含めること。
 - ✓ 吸着塔を支持する床の二本のビームに対する荷重は、等分して1/2ずつ掛かるとしているが、転倒により偏荷重となるので非保守的であること。
 - また、本審査の進捗遅れの原因として、東京電力での地盤改良モデル後の建屋応答解析の再評価に時間を要し、その結果が提示されていない状況が要因であることを確認した。

6. その他

資料：大型廃棄物保管庫の揚重設備及び架台設置に係る実施計画の変更について

以上